

第 10 回 P R I N T N E X T 2 0 1 0 実行委員会 議事録

2009. 8. 7

■日時

平成 21 年 7 月 22 日 (水) 16:05～19:30

■場所

千代田印刷会館〔東京都千代田区神田錦町 3 - 2〕

■委員出席者 (敬称略・以下同)

緑友会：戸根木 孝、大川 哲郎、上曾 朋広、泉 直人、大西 英資、

白井 信夫、秋元 宏彰

Space-21：山下 英作、添田 寛、中村 盟

J C 部会：久保井伸輔、石井 元就

全紙器：大瀧 敏裕、山崎 康成

印青連：宮坂 次郎

全青協：白田 真人、三島 秀夫、江森 克治、岸 昌洋、宮寄 佳昭

東青協：瀬田 章弘、伊藤 寿彦、松橋 務、谷口 和彦、吉田 寛二、

滝澤 光正、杉山 剛史、飯倉 千晴

ワグザバー：小野 亜衣 (株式会社大川印刷)、横浜市立大学・学生 2 名

書記：小池 寛 (全印工連事務局)

■議事内容

1. 新メンバー紹介

今回より、P R I N T N E X T 実行委員会の新メンバーとして以下の 10 名が加わり、自己紹介が行われた。

緑友会：泉 直人、大西 英資、白井 信夫、秋元 宏彰

J C 部会：石井 元就

全紙器：山崎 康成

印青連：宮坂 次郎

全青協：岸 昌洋、宮寄 佳昭

東青協：松橋 務、杉山 剛史、飯倉 千晴

2. 予算案上程および協議

三島委員より以下のとおり報告があり、了承された。

(三 島) 収入は登録料 20,000 円×450 人=9,000,000 円を見込んでおり、支出は椿山荘の会場・懇親会費やプログラム・パンフレット・チラシ・案内状等の制作・印刷費等、合計で 12,128,900 円を見込んでいる。差し引きで 3,128,900 円の支出

過多となる見込みだが、これについては協賛（スポンサー）を募集することで穴埋めすることとする。協賛先は従来の機械メーカーではなく、デジタル・ソフト系メーカーを中心に交渉を行いたい。次回までに候補先をリストアップし、検討を行うこととする。

協議中の主な意見は以下のとおり。

- (上 曾) ゾーン別にスポンサーを募集する方が、スポンサーを集めやすいと思う。
- (三 島) 企業・街・人づくりの各ゾーンの予算額 50 万円は事業運営ギリギリのラインと考えて設定しているので、足りないという意見があれば申し出て欲しい。
- (臼 田) スポンサーの集め方など、具体的なことは次回協議する。
- (久保井) 椿山荘と何度かやりとりした感じでは、基調講演と懇親会だけで最低でも 630 万円かかってしまう。ユニフォームや記念品はもっと簡素化してもよいのでは？ただ、テーブルとイスについてはいくつでも無料で使用可能との返事をいただいている。プロジェクターやスクリーン等の備品は通常どおり課金とのこと。
- (臼 田) 予算がギリギリということもあるので、各ゾーンでの打ち合わせは手弁当でお願いしたい。また、過去に開催した P R I N T N E X T の登録料は下記のとおりである。

◇過去に開催した P R I N T N E X T の登録料

04 年東京大会：¥16,000

05 年大阪大会：¥15,000

07 年宮崎大会：¥21,000

3. 各ゾーンチームから企画案の報告・審議

各ゾーンのリーダーからそれぞれ進捗状況の報告が行われ、了承された。

◆地域づくりゾーン（添田）

P R I N T N E X T 2 0 1 0 では、できる限り参加者がいくつかのヒントとなるものを持ち帰ることができるような内容のものにするために、地域内での核、ハブとなることができる事例（コンテンツ）を展開する。

◎コンテンツ案

- | | |
|---|---------------|
| ①行政との連携〔分科会〕 | ・湯島本郷百景 |
| ②NPOとの連携〔ミニセミナー〕 | ・横浜地域貢献企業認定制度 |
| ③ブランディングによる地域活性 | ・勝沼ワイン |
| ④GOODにみる寄付の可能性 | |
| ⑤ブース〔デュオデザイン、ふじたプリント社、東グラ中央支部、神奈川正和会、東青協〕 | |

◆企業づくりゾーン（久保井）

◎出品企業のガイドライン

以下の1または2のいずれかの条件を満たすことを定める。

1. 以下の1つ以上に該当すること

- 全青協の業態変革100選事業に入っている
- ニッチ性があると自他ともに認めている
- 高付加価値製品を開発・製造し、売上・収益に占める割合が大きい
- MUDを実践している
- 感性価値創造企業

2. 以下の全てに該当すること

- 業態変革を実施している
- 経営戦略が明確
- コアコンピタンスが明確

これに対し、以下のような意見があった。

（吉 田）MUDの基準を明確にしないと、あまり適さないものが出品されてしまう恐れがある。

（大 瀧）5団体均等に公募を行うのか？

（久保井）枠は特に設けていない。

（大 川）なぜ当社が出品企業に選ばれたかを、第三者の見地から検証を行う必要があるように思われる。

◎分科会テーマ

「経営理念から始まる組織づくりとCSR」を掲げ、中小零細企業であってもCSRを念頭におき、明確な経営理念をもち、組織に定着させていく必要性をアピールする。

これに対し、以下のような意見があった。

（中 村）地に足がついていることを地道にやっていくのが企業づくりゾーンであることを、再度認識して欲しい。

（大 川）全青協などではCSRへの理解が進んでいるが、他団体の方も理解できるように詳しい意味を解説した方が良い。

（臼 田）CSRをいち早く取り入れている大川・江森委員を中心に、印刷産業界にCSRの考え方を根付かせたいと考えている。

☆Goodyプラン（江森）

- ・学生に協力いただく。→「だんなプロジェクト」／横浜市立大学
- ・「公共広告機構」の雑誌版を制作したい。

◆日本づくりゾーン（江森）

PRINTNEXT2010・1日目のタイムスケジュールを確認。講師候補の福武氏には8月中に再度連絡し、折衝することとなっている。その後、全印工連の「印刷産業戦略デザイン室」の推進状況の説明を行った。

◆人づくりゾーン（大川）

「人創りは『CSR』」をテーマに開催。当初予定していたセミナー形式からカフェ形式に変更することとした。また、人づくりゾーンの対象者を「社長と学生」にし、2日目午前中に開催する「社長VS学生」の討論会ではお互いを知ることがを目的とし、午後には開催する「プリネクカフェ」は人材と社長の出会いやマッチングの場とする。

これに対し、以下のような意見があった。

（添 田）当日はバタバタして参加できないと思われるので、当日行われた中身を後日確認できるようにしてほしい。

（大 瀧）「学生」がキーワードとなっているが、全国から来場される経営者がどう関わられるのかを明確化してほしい。また、討論会は事前に社長および学生のグループを集めて打ち合わせを行わないと、白熱した議論にならないように思う。

また、横浜市立大学の学生からも意見が述べられた。

- ・「大規模な就活」というイメージ。
- ・2月開催なので、就活中だと忙しくて行かれない可能性が高い。インターンシップに直結していれば参加率が上がるように思う。

4. フロア担当より上程された協議事項

中村委員より以下のとおり説明が行われ、了承された。

- ①分科会会場があるA案またはB案で進めていく。
- ②10:30～16:30の6時間で展示を行う。
- ③小セミナーのタイムスケジュールは今後詰める。
- ④午前の部と午後の部各2ブースずつ、計4ブース設営する。

なお臼田委員長より、「④について、時間を10:00～16:00として計6コマにできないか検討してほしい」との要望が述べられた。

5. PN2010全体プロデュース+アートディレクションについて

岸委員より以下のとおり説明が行われ、了承された。

○ワビサビにご協力いただき、全体のプロデュースおよびアートディレクションを進行させていく。

→ウェブ、VIなどで何が必要なのか明示し、期限を明確化してほしい。

6. 全体スケジュールについて

瀬田委員より4つのゾーンおよび運営・広報・アートディレクション・会計の4チームの今後の活動スケジュールを資料に沿って進めて欲しいとの要請が出され、了承された。

7. その他報告および協議

以下のとおり意見が述べられた。

(宮坂) 印青連の立ち位置を確認したので、今後は積極的に協力していきたい。

(臼田) 今後も印青連が実行委員会に参加していただければ、運営委員会で共催という形をとれるか諮りたい。

最後に次回委員会開催日時と場所を下記のとおり決定し、議事を終了した。

第11回実行委員会 日時：2009年8月27日(木) 17:00～19:30

場所：日本印刷会館5F 全印工連・東印工組会議室

以上